

■ 平成30年度 区政懇談会（牡丹山小学校区）

日 時：平成30年6月6日（水）

15:00～16:30

会 場：東区プラザ 多目的ルーム2



（発言）

神社（下木戸2丁目諏訪社）を集会所として使用し、下木戸、下木戸東自治会のふれあい交流の場として利用している。**神社脇の道路の舗装**を要望したが、市道ではないため却下された。

また、市の消防小屋があるため袋小路となっている。そのため私道の舗装をする補助金も使えない。**消防小屋を移動させることはできないのか。**

（回答）

まず、項目1の神社脇道路舗装は、話があったように国有地で市道ではないため、市で舗装工事を行うことは難しい。私道等整備助成制度はあるが、消防小屋があるため袋小路となっており、助成制度が利用できない。消防小屋は代替地があれば移設は可能と消防署は言っているが、分団長の了解が必要になる。また代替地は分団の管轄地であり、無償で使用できることが条件であると聞いている。適当な土地があれば既存の小屋の撤去と移転先の消防小屋の新築となるが、消防小屋は老朽化したものが多く順番待ちになっているところもあり、予算確保が大変であるとも聞いている。

→神社敷地の借地公園化と合わせ、公園施設としての歩道整備について提案したが、神社敷地の借地公園化について、地元の合意形成が図られておらず、協議が止まっている状態。

（発言）

背割り排水路に蓋を敷設し、人が通れるようにしてほしい。排水路の改良前は人が通っていたため、住民からはなぜ通れないのかとの声もある。

人が通る場所ではないということだが、どうお考えなのか聞かせてほしい。

（回答）

背割り排水路を整備する際は、道路横断部分を除き、基本的に開渠構造としており、維持管理

がしやすい様に蓋掛けはしていない。お話の側溝は、平成23年度に地元の自治会から背割排水路の整備要望書提出があり平成26年度に排水能力向上を目的として背割排水路の改良工事を行った。平成27年度には排水路の定期的な清掃を容易にするために、雑草防止の土間コンクリートや車両等の侵入防止柵を設置し完了している。また、市としては、周辺の道路の歩行者の安全対策、歩道整備を行っている。

意見の箇所は、下水道事業としてやってきた。蓋をすると掃除がやりにくくなるため、蓋を掛けることは難しい。人が入らないように柵をしていることもあり、下水道の排水のための施設という位置づけで考えている。

一部の住民の方から様々なお話があることは伺っているが、グリーンベルトや歩道を整備した道路が近くにある中で、背割排水路を通る希望が多いのかについてお聞きしたい。

(発言)

道路は、平成27年頃から要望し、確かにグリーンベルトにしてもらい、非常に嬉しく思っている。それでも背割排水路が通れるようになれば、裏通りとして十分活用できる道路になるのではないかと考えている。ご検討をお願いしたい。

(回答)

話し合いは、これからも続けていきたいと思うが、非常に難しい問題だと思っている。

(発言)

現在、下木戸、下木戸東町には遊び場がないため、**神社の後ろ側を全部公園化し、特に低学年の子どもたちの賑やかな集いの場所にしたい。**

(回答)

子どもの遊び場要綱に基づく借地公園制度を実施している。この制度の要件を満たせるかどうかの協議を行う必要があり、建設課でお話を伺いたいと思うが、条件が四つほどある。1番目は、土地の使用が5年以上、広さはおおむね200平米以上ということ。2番目は、土地所有者の承認が得られ借地料は無料とすること。3番目は、設置する土地及びその周辺が交通事故、自然災害等の危険性がなく子どもの遊び場として適当であること。4番目は、地域の多数の人たちの協力を得て、児童の育成を積極的に図り施設の美化保全及び管理運営を責任持って行う体制ができていることである。これらの条件をもとに話し合いをさせていただくことにな

るが、まずは自治会の皆様で検討した上で建設課に相談いただきたい。

→借地公園としての条件は満たしており、申請等に必要な資料等を渡したが、自治会内での合意形成がうまくいっておらず、現時点での申請はない。

(発言)

寺山新町内の横断歩道の新設について、平成29年度に設置が認められたが、地先の方が反対し断念した。しかし危険なため、土日以外は毎日横断歩道に立って子どもたちの見守りをしている。警察と区役所で相談し、横断歩道の場所を決めてもらいたい。

(回答)

地域の子どもたちのためにご尽力いただき感謝している。小学校の通学路の安全確保のために学校が地域とともに定期的に安全点検を行い、危険箇所と対応の希望について学校から区に報告して検討する「通学路交通安全推進会議」があり、東警察、建設課、総務課、で行っている。区の場合、小学校12校を6校ずつ隔年で対象とし、話し合いをすることになっている。会議は6月26日に開かれる。牡丹山小学校区は平成30年度該当校ではないが、会議に向けて学校から具体的な要望を提出していただければと思っている。事前に学校と地域で、まず話をさせていただくことはできないか。

(発言)

教頭先生と何回も話をしたが、それでもだめだった。

区と警察と学校と話をし、ここにしよう決めてほしい。

(回答)

通学路は学校の所管である教育委員会にもかかわってくる。通学路交通安全プログラムがあり、それを無視して独断的に行うべきではなく、学校から話を上げてもらえると非常にありがたい。

(発言)

小針で事件があった後に全児童登下校というのがあり、その際は、みんな一生懸命町内の方が出て横断歩道のないところを渡した。

行政の複雑さはよく分かるが、行政機関同士で話をしたい。

(回答)

横断歩道は非常に大事なことと思う。そのような形になるように進めていければと思う。

(発言)

新潟日報地域欄に東地区の情報があまり載っていない。区の中の情報を集めて、発信されたほうがよいのではないかと。珍しい茅の輪くぐりなどをもう少し区以外の地区にも情報発信し、区の魅力をPRしてもらえればと思う。

私ども牡丹山校区は有名な諏訪神社があり、年末に地区の住民が集まって、農家から縄を提供してもらい、しめ縄を作っている。そのしめ縄を神社に飾り付けているが、これも珍しいと思う。

こういう情報を誰でも入れられる提案箱のようなものを作り、情報を集め、発信してもらえればと思う。

(回答)

このお話は、私もかなり感じており、この区に来てから何人もの方に、記事が少ないのではないかという意見を伺った。もちろん地域課、健康福祉課など、区独自の事業があるところについて、積極的に情報発信していかなければいけないと各課長とも話をしている。

様々な区の事業について、広報課を通じて情報提供しているが、それに加えて担当記者に話を実際に伝えていくべきと思っている。

先日、日報のおとなプラスに東区バスを巡って様々なところに行こうという記事が大きく3ページ載っており、こういうのもよいと思った。

報道機関に、さらに積極的に働きかけていくよう今後考えたい。

←東区内のコミュニティ協議会会長へ地域情報をお知らせいただくよう依頼し、地域課経由で新潟日報社に情報提供することとした。

(発言)

人口減少についての説明で感じたが、合計特殊出生率が非常に低い。

統計を調べてみると、若い世代は子どもを三人持ちたいという意向があるが、三人目を生む場合、育児休暇をもらいたいと言っても、会社としては「またか」という気持ちがあると思う。

これは区の問題ではなく、国全体の問題だと思うが、もし、三人目を生む人がいた場合、国

において法人税の大幅な減税などをしなければ、人口減少に歯止めをかけることはできないのではないかと思うが、いかがか。

(回答)

大変大きな問題で、市全体として、取り組んでいく必要がある。

産みたい子どもの数と、実際に産んだお子さんの数とズレがあり、産みたい子どもを産めるようにと、本市でも、まちひとしごと創生総合戦略という大きい事業計画のもとに市全体で取り組んでいる。

育児休暇の話もあったが、これは女性だけの話ではなく、市役所では男性も育児休暇を取って女性と一緒に育てるため、目標となる率を掲げて取り組んでおり、役所が先頭に立ってやらなければいけないと考えている。

民間も子育てに一生懸命取り組んでいる企業は、表彰だけではなく、何かメリットがあるところを国も政策に入れていただければと思っている。